

## 2007 道路ふれあい月間

### 見て、触れよう、みんなの道路

と き 2007年8月25日(土) 12:00~16:00  
と ころ 北見芸術文化ホール 前広場

- 道路で働く自動車を展示、体験試乗できます。
- 信号機などの実物を展示。
- 道路に関するパネル展示。
- お楽しみ縁日コーナー。



展示されている作業車に体験試乗することも。(2006年)



## 平成19年度 土木の日

写真コンクール テーマは「川」 ※新北見市内を流れる川に限る。



【土木の日の由来】

「土木」の2文字を分解すると十一と十八になること、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年(1879)11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定しました。(土木学会ホームページより)

土木  
土木

賞	一般の部	高校生以下の部
最優秀賞	1点 賞状及び副賞 (2万円相当商品券)	1点 賞状及び副賞 (図書カード)
優 秀 賞	2点 賞状及び副賞 (1万円相当商品券)	2点 賞状及び副賞 (図書カード)
入 賞	3点 賞状及び副賞 (5千円相当商品券)	7点 賞状及び副賞 (図書カード)

#### 【応募条件】

アマチュアの方で、応募者本人が撮影した未発表作品  
※過去1年以内の作品に限ります。

#### 【応募作品サイズ】

カラープリント、インクジェット印刷、4つ切り判、A4判サイズ  
※高校生以下の部についてはサービス判でも受け付けます。  
※デジタルデータ、スライド、組み写真、パネル貼りは不可。

応募の  
締め切り

平成19年10月31日(水)

※詳しい応募方法は、土木の日実行委員会またはホームページで  
<http://www.kitami-doboku.knc.ne.jp/>

主 催

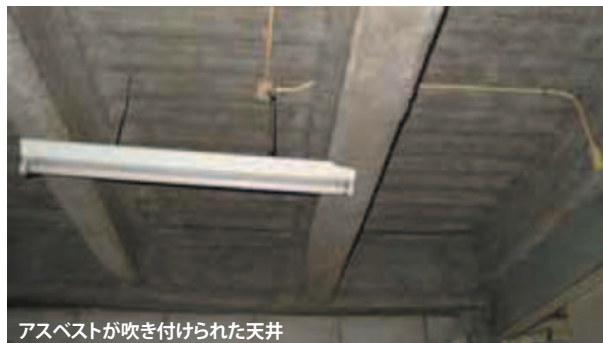
「土木の日」北見地区実行委員会

土木学会北海道支部、北見工業大学、北見工業高校  
北海道土木技術協会、網走開発建設部、網走土木現業所、  
北見市

お問合せ  
応募先

〒090-8501 北見市北5条東2丁目  
北見市役所都市建設部土木課内  
「土木の日実行委員会 写真コンクール」  
TEL.0157-25-1161 (片桐・石田)

## アスベスト診断士



アスベストが吹き付けられた天井

1980年代より危険性がささやかれていたアスベスト(石綿)の被害は、2005年に兵庫県尼崎市でアスベストを使用していた事業場周辺住民に、アスベスト特有のガンである中皮種が多発し、労働災害事例として公表されました。

これを機にアスベストへの関心が全国的に高まり、建築基準法ならびに宅地建物取引業法施行規則の改正では、アスベストの除去や有無の説明などが義務付けられました。

このような状況の下、当社では専門知識を有するアスベスト診断士2名を配置し、建物等の調査や建築設計業務を適格に実施する体制を整えています。

アスベスト診断士 ▶ 豊原 元 (札幌支店)  
丹羽直克 (札幌支店)



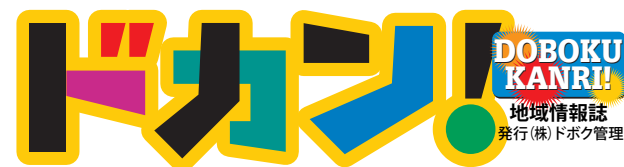
旭川支店

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計  
ISO 9001 : 2000認証登録



株式会社ドボク管理

本 社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508  
札幌支店 ●〒060-0908 札幌市東区北8条東1丁目3-7大ビル TEL.011-704-6704 FAX.011-704-6703  
旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番14.4 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363  
網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



NO.5  
2007.8.15

網走測量設計協会が毎年実施しているゴミ拾いボランティアの様子  
写真は、北見市内青葉通りの中央分離帯

## 北見本社 調査部門業務事例

### 特集

日本の味・なつかしい味  
昭和を代表する郷愁のお菓子

株式会社ドボク管理

## 本社調査部門

# 業務事例

H18 網走開発建設部管内 道路環境センサス  
北海道横断自動車道 浦幌町 事業損失防止調査

H17 一般国道39号外 網走管内 環境センサス調査  
渚滑古川 道単改修工事(水質調査)

### はじめに

近年の環境に対する意識は、CO<sub>2</sub>による地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、酸性雨といった地球環境レベルの問題から、道路交通騒音や振動、水質汚濁等の身近な問題に至るまで、その関心は高まりをみせています。

その中であって、今後の事業活動の在り方としては、良好な環境の保全と創出が求められています。

ここに、当社の業務として環境に係る調査事例を紹介します。

### 事例

1

## 自動車騒音の面的評価

騒音規制法第18条に基づく自動車騒音の常時監視は、「騒音に係る環境基準(平成11年4月施行)」の達成状況を把握するもので、自動車騒音公害防止に関する基礎資料として、全国を通して継続的に実施されています。

環境基準の達成状況は、「道路に面する地域の評価」について一定の地域ごとに当該地域内の全ての住居等のうち、環境基準値を超過する戸数および割合を把握することにより評価するものです。

ここでポイントは、従来の「点的」な評価から「面的」な評価へと変更されたことです。

当社は、計画立案からGISシステムへの入力に至る解析、評価結果の活用まで、沿道環境の保全について提案します。



交通騒音測定状況

## 計画・準備

資料調査

## 調査

道路調査・沿道調査・騒音調査

## GISシステム処理

初期設定

要素設定

道路設定・沿道設定

騒音推計

結果活用

分析・活用、データ管理

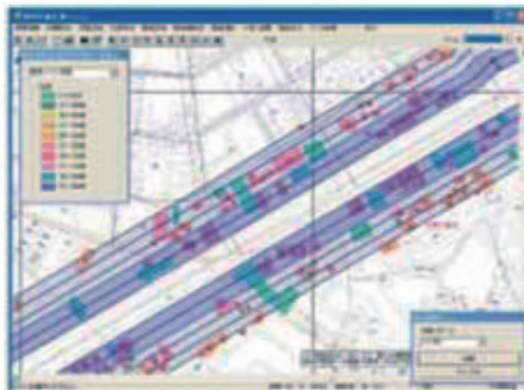
## 評価結果の活用

自動車騒音常時監視結果報告の作成

環境基準達成状況の把握

道路交通騒音対策の企画・立案

自動車騒音の面的評価 フロー図



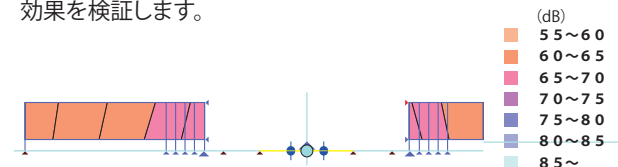
GISシステムによる面的評価例

### 事例

2

## 道路交通騒音の予測及び評価

道路事業における交通騒音の予測および評価、ならびに保全対策の検討を行います。また、沿道環境改善に係る整備効果を検証します。



「ASJ RTN Model 2003」による予測計算例

### 事例

3

## 沿道環境対策の検証

環境影響の評価において、道路、河川など一定規模を超える事業については、事業実施により周辺の環境に与える影響を調査・予測・評価し、環境保全に必要な措置を講じることを事業者に求めています。

また、経済、社会活動の拡大、生活様式の変化等を背景に、小規模な建設事業による環境問題にも一層厳しい目が向けられるようになってきました。

このような問題への対応として、環境と事業実施の接点の下に、騒音振動、地盤沈下、水質汚濁等の生活環境に著しい影響を与える諸要因について調査検討を行い、多種多様な条件に対応した調査手法を提案します。



搾乳牛への騒音対策として、遮音壁を設置した例



駄菓子屋さんに  
花火とシャボン玉  
は定番です。

## 有限会社 前橋玩具店

北見市美芳町5丁目2-4 (緑園通り) TEL & FAX.0157-23-5429

最近では、すっかり見  
かけなくなった駄菓子屋  
さん・・・

昔は近所の社交場であ  
り、子供たちにとっては  
夢のようなテーマパーク  
でもありました。

また、少ないお小遣い  
の中からほしい商品を買  
入するというやりくりの  
仕組みが自然に身に付く  
社会勉強の場でもあったように思います。

今回の特集で最初にご紹介するお店は、北見市内にある「前橋玩具店」さんです。

昭和38年創業の老舗であり、3世代6人で営むとても親しみのあるお店で、近所の子供たちから絶大な支持を得ています。

コンビニ世代である今の人たちに、昔の良いものや対



コンビニ世代に  
対面販売の面白さ  
や子供たちに店を通  
じての、しつけを教  
えていきたいと、前  
橋さん。



常連の子供たち



郷愁たどる店内

# 日本の味・なつかしい味 昭和を代表する郷愁の お菓子



1個10円のものからいろいろ。いっぱいあって商品点数は不明。

面販売の面白さを伝えたいと語る店主。

店内の昔懐かしい商品には、チロルチョコやうまい棒などの定番な物から、フワフワした食感がたまらなく美味しい「ふ菓子」、アタリ・ハズレに小さな胸をドキドキさせた「突きガム」(ボールガムが入っている箱の黄色いスティックを押すと色の付いたガムが飛び出し、その色に応じて、アタリ・ハズレがある)、とても甘くて綺麗な形の「こんぺいとう」、一口サイズのカステラ3個を棒に刺した「串カステラ」(子供の安全のために、



なつかしい駄菓子がいっぱいあります。



お菓子の他に  
も年代物で新品の  
「鉄腕アトム」もありました。

その頃の子供たちの  
憧れの的だったとい  
うタコロどっきり  
カメラ

こちらも新品!  
ポインター号です。

串も食べられる物もあ  
るそうです)などが、  
色鮮やかに店内を賑わ  
せています。

駄菓子以外にも男の  
子なら誰もが触れたこ  
とのある「スーパー  
ボール」や「花火」、

どれだけ大きく作れるかを競った「シャボン玉」などもあり、その商品の種類は数えきれないほどです。



これだけいっぱい買物しても  
合計で600円ちょっと。



お店は緑園通り沿い、山下通り交差点の近くにありま

ところで皆さんは、昭和を代表するお菓子の一つである「どん」をご存じでしょうか。

そのおいしい味も魅力ですが、昔は「ドーン」という大きな音と共に一瞬にしてできあがる光景に胸を躍らせたものでした。

## 留辺薬 みのどん菓子



自宅の庭に販売所



国道脇の看板

国道39号を北見市から旭川方面へ車で走ること約30分、留辺薬町に着いてもなく、右側に「どん菓子あります」という黄色い小さな立て看板が目に入ります。

そこは、今でも『どん』の製造販売をしている宮本さんのお家で、ベランダに面した大きな庭の一角に販売所があります。中をのぞくと、招き猫が鎮座するそばに「不在の時は料金を入れてお持ちください」と書かれた小箱が置かれ、いろんな種類の『どん』が一袋150円から300円の価格で並んでいます。

取材を快く引き受けてくださった宮本さんに、車庫を改造した製造所に案内され、一歩足を踏み入れると同時に懐かしく香ばしい匂いが鼻をくすぐります。

製造所内には昔懐かしいどん製造機を始め、雷オコシを作るために試行錯誤の末に考案された伸ばし台や伸ばし棒、さらにコテやガスレンジ、冷蔵庫などがところ狭しと置かれています。

宮本さんは、平成11年3月に郵便局を完全退職されたのを期に、「子供の頃に食べた『どん』を自分で作ってみよう」と軽い気持ちで始めたそうですが、今ではその奥深さにすっかりはまってしまったとのこと。昔(50~60年前)は、「どん屋さん」と親しみを込めて呼んでいたおじさんが、空き地の片隅で子供に囲まれながら、お客さん持参のトウキビなどで「どん」を作る光景がよく見受けられました。当時は、材料を直径約30cmの圧力釜に入れ、ハンドルで釜を回

しながら下から加熱して、期が熟すと一気に蓋のピンをはずし、「ドーン」という大きな音と共に何倍にもふくれて網の中に飛び出てくるのを、耳をふさぎながらまるで魔法でも見るかのような驚異のまなざしで見ているのです。

当時、宮本さんが一番苦労されたのが機械の調達で、色々情報を収集したところ大阪府で製造されていて(大阪ではポン菓子機という)機械本体23万円、その他諸々の道具などを合わせて約50万円で購入されたそうです。その機械は昔と違い、熱源がプロパンガスで釜はモーターで回り、さらに圧力計もつくという優れ物です。

宮本さんが使う材料は、トウキビ(昔ながらのウルキビ)、玄米の他に、白米は旭川産、大豆・黒豆は十勝産で、ダツタン蕎麦の実(雄武・興部産)を購入するというこだわりようです。それぞれ釜に入れる量、火加減、味付け、圧力の



やり始めのころは失敗も、苦労しましたと、宮本さん。



どん菓子製造器。  
奥が圧力を加える釜で  
手前のカゴに吐き出されます

かけ方によってでき具合が違うということですが、もちろん企業(?)秘密とのことでした。

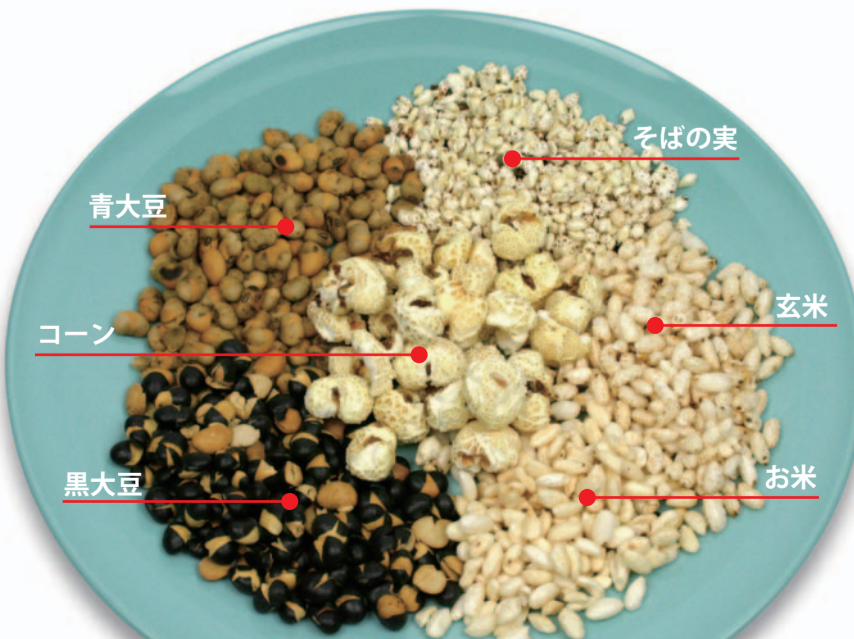
最近では、白米の「どん」に牛乳を混ぜて柔らかくすることで離乳食としたり、歯の弱くなったお年寄りにも食べられているそうで、なかには無農薬の材料を持ち込み「どんにして子供のおやつにしたい!」というお客さんまでいるそうです。

また、「どん」作りの噂を聞いて、お祭りのイベントや幼稚園、老人ホームなどから「実演してほしい」との依頼もあるようですが、今のところ「さて、どうしたものか」と思案中とのこと。

今回取材を通して、どん作りの「楽しさ・難しさ・奥深さ」を知ることができました。帰りの車中では買ってきた「どん」の香ばしい匂いにひたりながら帰路に着きました。

今の子供たちにとって、遊ぶ場所も時間も極端に少ない現在の生活環境は、防犯用品を子供が持ち歩くこの時代には仕方のないことなのかもしれません。しかし、心豊かな人間形成という教育の原点に立ち返ると、年々その目的からかけ離れていくような気がしてなりません。

昔の駄菓子屋さん・どん屋さんのように、大人とふれあい子供たちが目を輝かせて集い遊べる場が、形を変えてでも生まれてほしいと切に願っています。



青大豆

そばの実

コーン

玄米

黒大豆

お米

この面の情報はドボク管理の職員が独自に取材したものです。  
発行責任者: 齊藤幹次(取締役副社長) 制作: ドボク管理 地域情報誌編集室  
〒090-0801 北見市春光町1丁目24-3 株式会社ドボク管理  
TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508  
E-mail design@dobokukanri.co.jp

<http://www.dobokukanri.co.jp/>